

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月7日

上場会社名 株式会社シノケングループ 上場取引所 大
 コード番号 8909 URL <http://www.shinoken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠原 英明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 霍川 順一 (TEL) 092-477-0040
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	16,846	20.9	1,534	26.5	1,311	49.0	1,068	△21.4
23年12月期第3四半期	13,931	2.9	1,212	29.7	879	38.6	1,360	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 1,072百万円 (△20.8%) 23年12月期第3四半期 1,354百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	12,815.30	—
23年12月期第3四半期	15,983.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	17,933	3,135	14.7	32,412.99
23年12月期	15,878	1,697	10.7	20,250.72

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 2,628百万円 23年12月期 1,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	550.00	550.00
24年12月期	—	0.00	—		
24年12月期（予想）				600.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	18.6	1,500	14.6	1,100	24.8	950	△5.1	11,364.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間中における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年12月期3Q	87,182株	23年12月期	87,182株
-----------	---------	---------	---------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	6,088株	23年12月期	3,588株
-----------	--------	---------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年12月期3Q	83,385株	23年12月期3Q	84,711株
-----------	---------	-----------	---------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載しております業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により回復の兆しがあったものの、欧州金融危機や長期化する円高、消費税増税等により、景気の先行は依然として不透明な状況が継続しております。

当不動産業界におきましては、政策効果の下支え等により回復傾向にあるものの、本格的な市況の回復にはまだ時間を要するものと思われれます。

このような環境のもと当社グループは、フロービジネス（アパート販売、マンション販売）とストックビジネス（不動産賃貸管理、金融・保証関連、LPガス供給販売）との連携により、グループ全体としてサービス・品質を高め、企業価値の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高は168億46百万円（前年同期比20.9%増加）、営業利益は15億34百万円（前年同期比26.5%増加）、経常利益は13億11百万円（前年同期比49.0%増加）、四半期純利益は10億68百万円（前年同期比21.4%減少）となりました。四半期純利益の前年同期比での減少は、前第3四半期連結会計期間に連結子会社間の吸収合併を行ったことにより、繰延税金資産を新たに認識したことによるものであります。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として、顧客との取引が集中する春先に向けて売上高が大きくなる傾向にあり、四半期ごとの業績には季節的変動があります。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

① アパート販売事業

アパート販売事業は、主にサラリーマン・公務員層に対しアパート経営の提案を行ってまいりました。アパートの引渡しは計画通り推移し、新たなアパート用地の確保にも努めてまいりました。

その結果、売上高は50億71百万円（前年同期比212.2%増加）、セグメント利益は3億41百万円（前年同期は損失18百万円）となりました。

② マンション販売事業

マンション販売事業の区分販売は、前連結会計年度より確保した物件の販売が順調に推移いたしました。また、マンション販売業者に対する一棟販売においても、計画通りに1棟を引渡しいたしました。

その結果、売上高は81億77百万円（前年同期比9.3%減少）、セグメント利益は10億19百万円（前年同期比2.2%減少）となりました。

③ 不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業は、管理物件の入居率の維持・向上を目指し、広告活動やリーシング力の強化により入居促進に努めてまいりました。

その結果、売上高は30億13百万円（前年同期比12.5%増加）、セグメント利益は4億7百万円（前年同期比10.4%増加）となりました。

④ 金融・保証関連事業

金融・保証関連事業は、家賃滞納保証業務の販促活動を行い新規顧客の獲得を図るとともに、保証家賃の回収率向上に努めてまいりました。

その結果、売上高は1億41百万円（前年同期比17.9%増加）、セグメント利益は1億4百万円（前年同期比19.4%増加）となりました。

⑤ その他の事業

その他の事業は、前連結会計年度末に飲食店（1店舗）を閉鎖したことに伴い、前年同期に比して売上高が減少するものの、LPガス供給世帯数は当第3四半期連結会計期間末において9,987世帯となり、利益面においては堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は4億41百万円（前年同期比10.0%減少）、セグメント利益は67百万円（前年同期比12.1%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億55百万円増加し、179億33百万円となりました。主な増加要因は、不動産事業支出金の増加15億78百万円及び現金及び預金の増加9億4百万円であり、主な減少要因は、不動産事業未収入金の減少2億14百万円及び営業貸付金の減少2億57百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億18百万円増加し、147億98百万円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加12億65百万円及び不動産事業未払金の増加11億30百万円であり、主な減少要因は、短期借入金の減少15億95百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ14億37百万円増加し、31億35百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加10億22百万円及び少数株主持分の増加5億円であり、主な減少要因は、自己株式の取得91百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成24年8月8日に公表しました通期業績予想に変更はありません。

※ 本資料に記載しております業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,700,412	2,605,338
不動産事業未収入金	359,697	145,342
営業貸付金	1,270,300	1,012,964
販売用不動産	4,300,190	4,472,273
不動産事業支出金	3,589,788	5,167,834
その他のたな卸資産	3,891	2,635
その他	786,333	614,011
貸倒引当金	△17,050	△14,616
流動資産合計	11,993,564	14,005,783
固定資産		
有形固定資産	2,354,446	2,374,859
無形固定資産	99,879	84,105
投資その他の資産	1,430,173	1,469,011
固定資産合計	3,884,499	3,927,977
資産合計	15,878,063	17,933,760
負債の部		
流動負債		
不動産事業未払金	2,147,238	3,278,109
短期借入金	7,467,778	5,872,567
1年内償還予定の社債	—	200,000
未払法人税等	121,566	109,165
その他	1,229,166	1,068,176
流動負債合計	10,965,749	10,528,019
固定負債		
社債	200,000	—
長期借入金	2,864,311	4,130,023
その他	150,600	140,695
固定負債合計	3,214,912	4,270,719
負債合計	14,180,661	14,798,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	497,494	497,494
利益剰余金	413,886	1,436,513
自己株式	△190,821	△281,911
株主資本合計	1,720,558	2,652,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,764	△22,214
為替換算調整勘定	45	△1,382
その他の包括利益累計額合計	△27,719	△23,596
新株予約権	4,562	6,522
少数株主持分	—	500,000
純資産合計	1,697,402	3,135,021
負債純資産合計	15,878,063	17,933,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	13,931,247	16,846,943
売上原価	10,935,600	13,256,478
売上総利益	2,995,646	3,590,465
販売費及び一般管理費	1,783,530	2,056,438
営業利益	1,212,116	1,534,027
営業外収益		
持分法による投資利益	26,609	67,694
損害賠償金	57,000	—
その他	41,052	44,496
営業外収益合計	124,662	112,190
営業外費用		
支払利息	228,621	243,836
支払手数料	156,187	78,266
その他	71,972	12,123
営業外費用合計	456,781	334,226
経常利益	879,997	1,311,991
特別利益		
過年度損益修正益	35,025	—
特別利益合計	35,025	—
特別損失		
投資有価証券評価損	31,185	—
減損損失	32,656	—
特別損失合計	63,842	—
税金等調整前四半期純利益	851,180	1,311,991
法人税、住民税及び事業税	153,660	199,482
法人税等調整額	△662,514	43,905
法人税等合計	△508,853	243,387
少数株主損益調整前四半期純利益	1,360,033	1,068,603
四半期純利益	1,360,033	1,068,603

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,360,033	1,068,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,492	5,550
為替換算調整勘定	65	△1,427
その他の包括利益合計	△5,426	4,122
四半期包括利益	1,354,606	1,072,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,354,606	1,072,726
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アパート 販売事業	マンション 販売事業	不動産 賃貸管理 事業	金融・保証 関連事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	1,624,056	9,018,896	2,676,915	120,395	490,983	13,931,247	—	13,931,247
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,752	—	20,878	23,745	—	69,375	△69,375	—
計	1,648,808	9,018,896	2,697,793	144,140	490,983	14,000,622	△69,375	13,931,247
セグメント利益 又は損失(△)	△18,038	1,042,790	369,174	87,845	60,338	1,542,109	△329,993	1,212,116

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、L Pガス供給販売事業及び飲食店事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△329,993千円には、セグメント間取引消去△69,375千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△260,617千円が含まれており、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	アパート 販売事業	マンション 販売事業	不動産 賃貸管理 事業	金融・保証 関連事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	5,071,621	8,177,691	3,013,989	141,994	441,645	16,846,943	—	16,846,943
セグメント間の内部 売上高又は振替高	77,489	10,700	26,934	24,843	1,635	141,604	△141,604	—
計	5,149,111	8,188,391	3,040,924	166,838	443,281	16,988,547	△141,604	16,846,943
セグメント利益	341,191	1,019,796	407,822	104,927	67,658	1,941,397	△407,369	1,534,027

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、L Pガス供給販売事業及び飲食店事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△407,369千円には、セグメント間取引消去△141,604千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△265,765千円が含まれており、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。